

アンケート調査結果報告（3回目）

令和2年4月から6月にかけて空知中部広域連合と合同で行った「介護予防・日常生活圏域二一ズ調査」にご協力いただきありがとうございました。同時に実施した浦臼町独自調査の結果をお知らせいたしますが、今回で最終回になります。 [長寿福祉課 介護福祉係]

2. アンケート回答の考察

問3 医療機関等の受診について

(1) 現在の医療機関利用状況

・医療機関を利用していないと回答したのは、3.3%でした。高齢になるにつれて、町内、町外ともに利用者は増えていました。

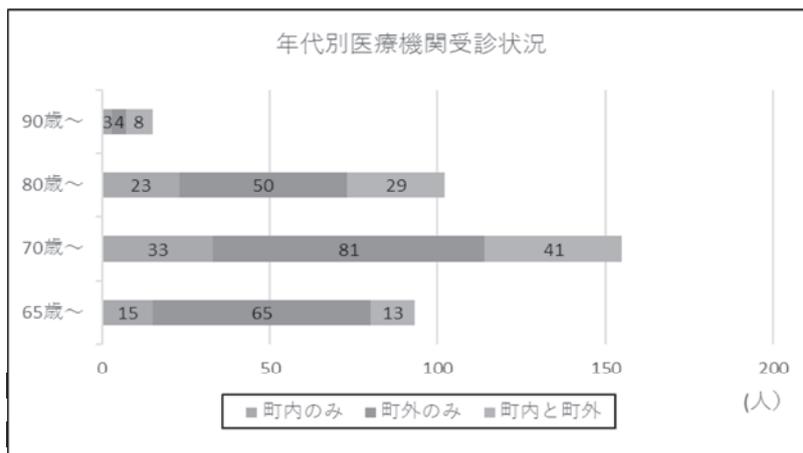
・医科、歯科ともに、町内より町外利用者が多い結果となっています。

町外の医療機関の通院先は、砂川、滝川、奈井江が多い結果となっています。

町外の医療機関を利用している方は200人（45.6%）おり、自分の運転で移動することができる若い世代が特に多い結果となっていました。高齢になると公共交通機関を利用する方が多くなり、専門の医療機関に受診したくても移動手段がないことや経済的な負担が大きく、受診できない方もいると考えられました。

・町内診療所を利用している方は165人（37.6%）。そのうち、町内診療所と町外の医療機関（特に砂川・滝川）の両方を利用している方は91人（20.7%）でした。町内診療所のみ利用者は74人（16.9%）となっていました。

受診状況を年代別に見てみると、年齢が高くなるにつれて、受診率が高く、町内診療所だけでは治療できない疾患について町外医療機関を利用されている方が多いことが考えられました。



※医療機関を利用していない方、無回答の方は除く

・歯科についても、町外医療機関を利用する方が多く、197人中109人が利用（55.3%）していました。

町外歯科の通院先は、奈井江、新十津川、月形が多い結果となっています。歯科診療所は頻繁に受診する場合も多く、自動車の運転をされない方でもバスの乗り換えなく利用できる歯科診療所を受診していると考えられます。

(2) 医療機関等を利用する際の困りごと

- 1位「特に困りごとはない」 43.3%
- 2位「町外の通院の交通費負担が大きい」 16.0%
- 3位「急な体調変化時の対応が分からない」 6.8%



- ・43.3%が困りごとは「ない」と回答されました。そのうち60歳代、70歳代が80.0%を占めており、この年代は自動車の運転ができるため、困りごとがないと回答したと考えられます。困りごとがないと回答している方は、年齢が高くなるに連れて減少しています。
- ・「交通費の負担が大きい」と回答した方が、22.6%いました。その多くが80歳代、90歳代でした。また、男性よりも女性の方が困っている割合が高い結果となっていました。
 専門科を町外医療機関に受診し、さらに自動車の運転をされない方にとっては、定期的な通院が必要となる受診時の交通費負担は大きいと考えられます。町よりタクシー券助成はありますが、町外の医療機関受診時に使用すると1～数回の受診で助成券はなくなってしまいます。
 町外医療機関については、通院の移動手段がないことや経済的な負担があること、自動車運転免許返納後に不安があるといった意見がありました。
- ・「急な体調変化の時の対応が分からない」と回答した方が6.8%いました。

(3) 自由記載

- ・町内診療所については、休診が多いなどの不満がありますが、利用希望の意見が多くありました。

浦臼町の介護保険制度以外の高齢者等支援サービスのご紹介③

1、除雪サービス

対象：65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢夫婦世帯、身体虚弱のため自力で除雪することが困難な方

内容：家屋の生活部分の窓周り明かり確保のための除雪が中心で、自宅前や屋根の雪下ろし等には対応していません。

利用負担額：1回につき 30分以内は1,000円
 30分以上は1,500円

お問い合わせは、介護福祉係（電話68-2288）へ



2、在宅介護おむつ手当

対象：在宅で介護を受け、常時おむつの必要な方

内容：おむつ代の助成を行います。

お問い合わせは、浦臼町社会福祉協議会（電話69-2188）へ

○認知症健診（ゆうゆう健診）のお知らせ

毎年11～12月頃に実施していましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、大塚邦明教授医師団は、今年は来町しないことになりました。そのため、今年のゆうゆう健診は、昨年度の健診で1年後の再検査を指示された方のみを対象に町職員が実施することになりました。対象となる方には、個別にお知らせいたします。ご理解いただきますようお願いいたします。

買物は町内商店で買きましょう!!